

NCVオペラ 面格子付上げ下げ窓B型

組立て説明書

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意・組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 障子の外れ・落下防止のため、下記事項を厳守してください。
- 障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。
- 形材の切断面との接触等によるけが防止のため、キャップ類は必ず取り付けてください。
- 障子が勢よく開いて、けが・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
- 障子は必ず枠を立てた状態で建て込んでください。
- 障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
- 縦枠両側に張り付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N・m (25±5kgf・cm) のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

■部品・ねじ一覧表

※本文中の①～⑩は、部品・ねじの種類を示します。

外枠組立て用		障子組立て用			障子建込み用			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
φ4×30/バンド タッピンねじ	φ4×70ナベタッピンねじ	フッシュボタン	φ4×30ナベ タッピンねじ	ピボット	M4×6トラス小ねじ (先付)	アームスライダ	M4×8平小ねじ(先付)	障子ストッパー

■バラサナー部品箱(別売り)一覧表

※本文中の⑪・⑫は、部品・ねじの種類を示します。

バラサナー取付け用	ねじセット	キャップセット
⑪	⑬	⑭
M4×10/バンド小ねじ	φ4×8 六角ワンウェイねじ	M4×10トラス小ねじ
形状	形状	形状
たて格子	5~6本	2本
井桁格子・横格子・ヒシクロス格子	5~6本	2本

■面格子部品箱一覧表

※本文中の⑯～㉑は、部品・ねじの種類を示します。

ねじセット	キャップセット
⑮	⑰
φ4×8 六角ワンウェイねじ	M4×10トラス小ねじ
形状	形状
たて格子	5~6本
井桁格子・横格子・ヒシクロス格子	5~6本

■組立て上のお願

- 本組立て説明書は、単板ガラスで説明していますが、複層ガラスの場合も同様に組み立ててください。
- 必ず指定のねじで組み立ててください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書及び外枠取付け用・額縁取付け用部品セットは、必ず施工される方にお渡しください。
- 枠を躯体に取り付けてから障子を建て込む場合は、必ず施工される方に障子建込み用部品セットをお渡しください。
- 面格子は、あらかじめサッシ枠に組み込んでから躯体に取り付けてください。サッシ枠が反っている場合や直角が出ていない場合、後からは面格子を取り付けられないことがあります。
- 面格子はガラスを取り付ける前にサッシ枠に組み込んでください。
- 面格子を取外す際は、ペンチ等の工具で六角ワンウェイネジを外してください。
- 網戸は、あらかじめサッシ枠に組み込んでから躯体に取り付けてください。面格子取付け後は室内側から網戸を取り付けられません。
- ガラス寸法はダンボールまたはカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
- FIX部のガラスは、障子を建て込む前に入れてください。
- バラサナー部品箱は別売りです。

■組立て順序

1 障子の組立て

■A部詳細図

- ①ガラスにグレイジングチャンネルを回します。
- ②上棧と下棧を差し込みます。
- ③左右の縦枠を差し込み、ねじで固定します。
- ④下棧にピボットを奥まで差し込み、ねじ止めします。

※ガラス寸法はダンボールに表示してあります。

2 枠の組立て

①各部材の向きを合わせてねじ止めします。

▲注意

- ねじは2.5±0.5N・m (25±5kgf・cm) のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。
- 縦枠両側に張り付けてあるコーキングシーラーが、上下棧のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■B部詳細図

- ブラケット下のノルシールおよび上棧のシール材がヨシれたりはがれたりしないよう組み立ててください。

■C部詳細図

- コーキングシーラーが、上下棧のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

3 面格子の組込み

- ①下棧の格子取付け横線に面格子をのせます。
- ②上棧の溝に面格子・上棧の上端を引っ掛けます。
- ③上下棧と面格子上下棧の取付け穴を合わせて六角ワンウェイねじでねじ止めします。
- ④端部に上棧キャップ・取付け横キャップをはめ込みます。

▲注意

- 形材の切断面との接触によるけが防止のため、キャップ類は必ず取り付けてください。

■D部詳細図

- 上棧キャップは面格子上棧にはめ込んでねじ止めしてください。

4 バラサナーの取付け

■お願い

- 障子建込み前にバラサナーのワイヤーを引き出したり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。障子が建て込めなくなったり、バラサナーが破損したりすることがあります。
- バラサナーの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L(内観左)・R(内観右)を確認してください。

※ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバラサナーが異なります。取付け前にバラサナーの機種を確認してください。

※バラサナーは、枠組立て前・枠組立て後・FIX部のガラス入れ後のいずれでも縦枠に取り付けることができます。

- ①バラサナーを45°傾けて、上棧に差し込みます。
- ②バラサナーの軸が室内側正面を向くように回転させて上棧に納めます。
- ③バラサナーを縦枠側にスライドさせ、縦枠についているブラケットのL字型フックにバラサナーの角穴を引っ掛けます。
- ④バラサナーをブラケットにねじ止めします。
- ⑤同様にもう一方のバラサナーを取り付けます。

5 FIX部のガラス入れ

- ①クレセント受けのねじを外します。(複層ガラス仕様の場合は、クレセント受けも外してください。)
- ②ガラスを入れます。(E部詳細図) ※複層ガラス仕様の場合は、この後クレセント受けを戻してください。
- ③上押線を取り付けます。
- ④縦押線を取り付けます。
- ⑤後付けビードを回します。
- ⑥クレセント受けをねじ止めします。

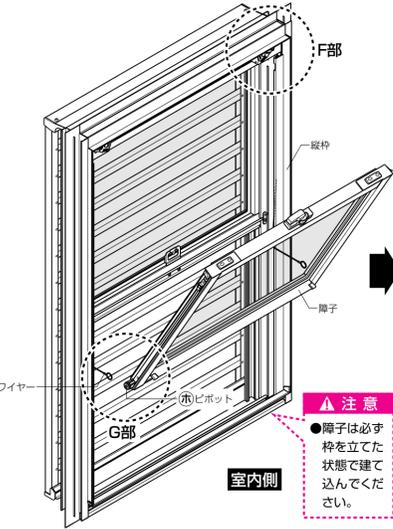
■E部詳細図

- FIX部にガラスを入れる前に、中棧アタッチメントがきちんと掛かっていることを確認してください。(複層ガラス仕様の場合は、中棧アタッチメントはありません。)

■取り付け順序

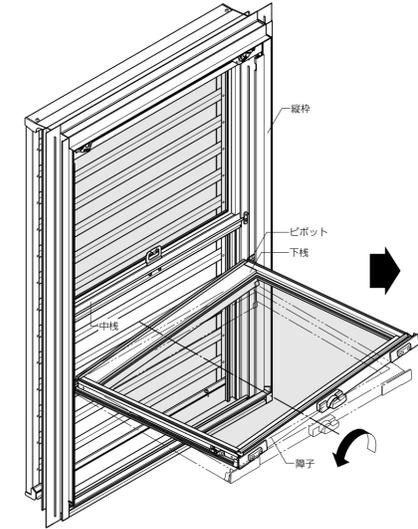
■障子の建込み

- ① バランサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。
- ② ワイヤの先端をピボットの溝にはめ込みます。

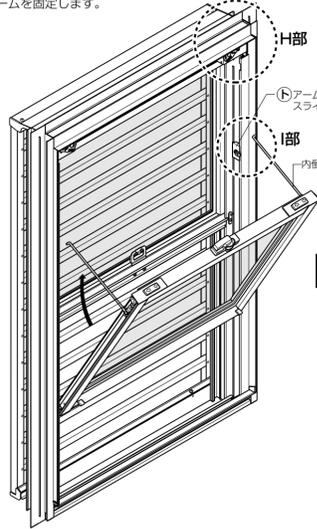


▲注意
● 障子は必ず枠を立てた状態で建て込んでください。

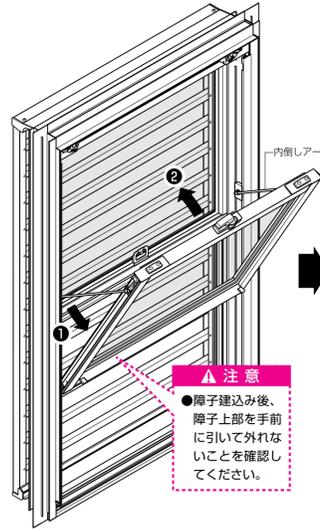
- ③ 障子の下線を中横より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差し込みます。



- ④ アームスライダの「室内」表示を室内側に向け、縦枠の切欠きから差し込みます。
※H907未満には内倒しアームがついていませんので、アームスライダは使用しません。
- ⑤ アームスライダに、内倒しアームを固定します。

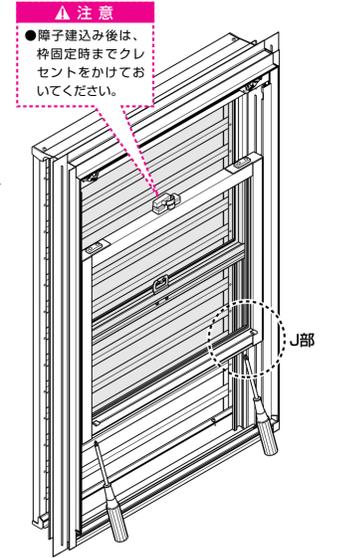


- ⑥ 内倒しアームを押し下げながら(1)、障子を起こし、「カチッ」という音がするまで室外方向に押し付けます。(2)

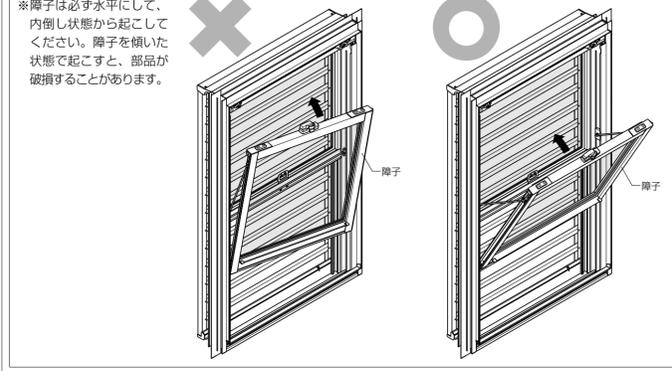
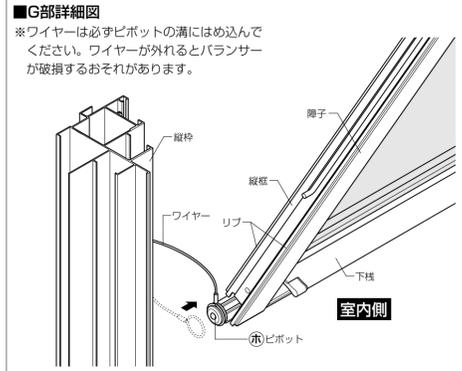
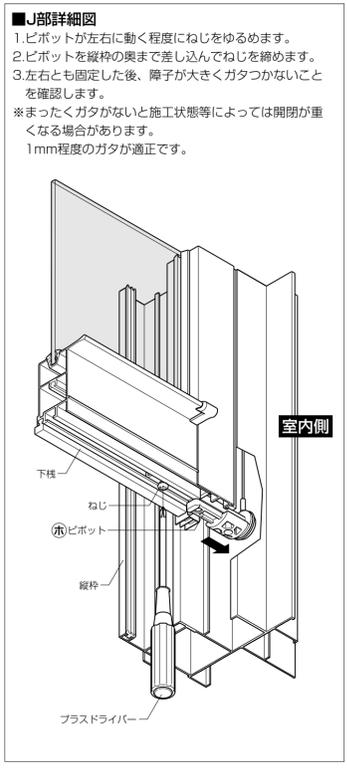
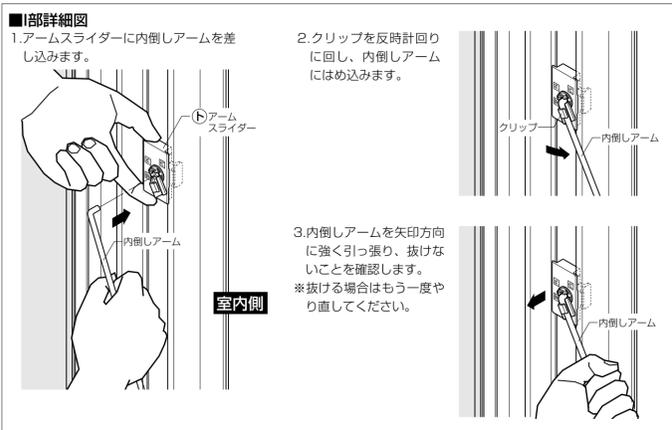
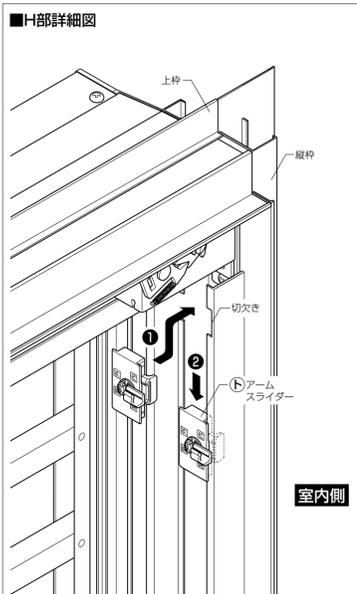
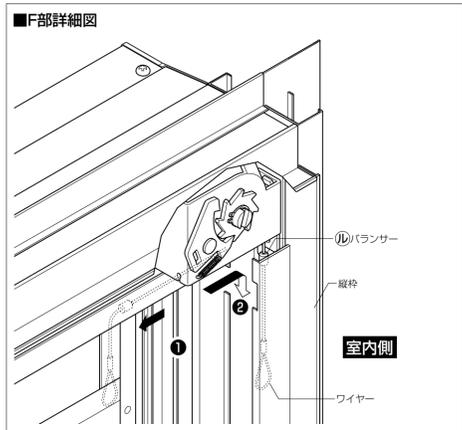


▲注意
● 障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。

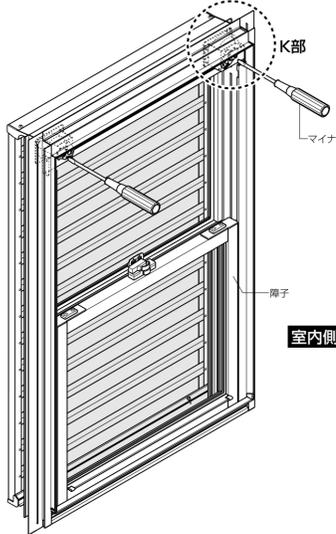
- ⑦ ピボットのねじ位置を調整します。



▲注意
● 障子建込み後は、枠固定時までクレンザーをかけておいてください。



- バランサーの調整
- ※ バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。
- ① 障子を一番下に下げます。
 - ② 障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※ 左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差し込んで回し、戻してください。



- 上枠カバー材の取付け
- ① 上枠カバー材を上枠アングル下部と上押縁のくぼみに押し当てます。
※ 左右のアングルを傷つけないようにしてください。
 - ② 上枠カバー材をねじ止めします。
※ ねじは必ず手締めにし、強く締めすぎないようにしてください。
 - ③ 障子ストッパーを縦枠の切欠きに水平にはめ、「パチン」と音がするまで押し付けます。

